

EARTH（大地・地球）の声は HEART（ハート・心）で聞くしかない

バージニアの田舎に住む友人の BJ（本人がフルネームを決して教えてくれないのでみなビージェイと呼んでいます）は木や花や、動物や、大地や、石や亡くなった人達とお話ができる人で、必要な時には翻訳して私たちに教えてくれます。とても親切で、ユーモアがあって、おまけに料理も上手です。太母さんの言葉も聞こえるようで、少し教えてくれましたが、ドライなユーモアの持ち主だと言っていました。

さて、BJ のような人はどうして木や花と話ができるのか、これは頭を主にせず、ハートで聞くからですが、そういう説明はよく聞きますよね。でもこれは具体的にどういう手法なのでしょう？

ご存知のように人間はコミュニケーションに言語を使っています。この言語は世界に何百種類もあります。違う言語を使っている人間同士が話し合うには通訳者がいないとできません。通訳者は各言語をそれぞれ習得して主として頭脳を使って仕事します。私もこの仕事をしていたので言えるのですが、習得していない言語を通訳することはできません。これは BJ など人間以外の生物の思いを認識することのできる人達の作業とは異なる方式を使っているということのようです。私も以前は頭脳を使っていた為、木や花と話できませんでした。今は少しできます。

では木の言語、花の言語、石の言語、虫の言語というものがあるのでしょうか？
それぞれは異なる言語なのでしょうか？

おそらく人間の使っている言語とは異なる形態の意思の表現で互いに交流しているのではないのでしょうか。そしてそこには何か共通のプラットフォームのようなものがあって、そのプラットフォームを持っている人が多くの生物と交信できるのだと思います。3年前にバージニアを訪ねた折にジャクソンという犬に会い、その時に犬の思いを理解できたことは以前にエッセイ「ただいま恋愛中」に書きました。その時に初めて異なる形態の意思の疎通方法があることを実体験してから少しずつその方式によるコミュニケーションの練習を積んできました。練習というより、体験の積み重ねという方がより近いですが。

共通のプラットフォームとは感情なのです。感情と言ってもいろいろあります。ハートの納得することのできる、つまり苦しくない、生理的には不愉快でない感情のことです。言い換えると嘘ではない感情です。動物や植物は嘘をつきません。というより、つけないのです。人間の言語と異なり嘘をつける形態ではないのです。言い換えれば人語は嘘をつけるという構造を持っているのです。これは落とし穴なのです。罠なのです。くれぐれも気をつけて、はまらないようにしてください。



太母さんは自分のことを「地球の代弁者」と言っていました。大地・地球（EARTH）の声を聞くのには心（HEART）で聞くしかないので。豊かで、細やかで、優しいハートを持っていると多くの生き物の声が聞こえるようになってきます。

BJ と私



ハミングバード（ハチ鳥）
しょっちゅう来ます。

最近のジャクソン

女性たちが来るからと前日シャンプーしたのですが、すぐに泥まみれになる（小動物を捕まえる種類の犬なので薬品の匂い消しの為らしい）ので、あと 24 時間だけは清潔でいてね、と頼んだら本当に一日だけきれいでした。分かるんだ。すごいね。

